



# 講習会だより



before

after



## 花木剪定のポイント

花の咲く庭木の剪定は、共通するところは、花が終わった後、花芽が分化する前に花の下の外芽で切ります。

また、自然風ではなく円筒形など、樹冠を丸味を帯びた形に仕立てるときは、一巨忌枝を全部外してから刈り込むようにします。



アルベリック・バルビエ系のつるバラが今を盛りと咲いています。



今回は思わぬ悪天候でして、せっかくの実習も中途半端になってしまい本当に残念でした。

上の写真は藤の誘引の質問のところでお話したバラの誘引ですが、つるものはフェンスから10cm程度離れた場所にポールを立て水平になるように誘引固定し、フェンスや柵にはくぐらせず固定もしないようにします。

また、資料の3ページで記載しましたように、農薬として剤型に登録されていないものの一例として、石灰硫黄合剤や展着剤を紹介しましたが、その他にも水和硫黄剤や遺伝子組み換え技術の応用により開発された、アグロバクテリウムラジオバクター剤などがあります。

2013.05.11 (土) ほとんど雨 21℃/19℃